

## 公 表

### 第54回技能五輪全国大会「和裁」職種競技課題

統一材料を使用し、仕立て寸法規定に従うこと

コテ釜・コテ(2本使用可)を持参すること

次の注意事項及び仕様に従って、付下げ女子用あわせ長着を仕立てなさい。

1 競技時間 9時間

2 注意事項

- (1) 使用工具等は、「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用してはならない。  
ただし、障害者の場合は、障害の程度に応じて、当該障害者が必要とする工具等の使用を認めるものとする。
- (2) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (3) 競技開始前に、針に糸を通してはならない。
- (4) 作品をたたみ上げた時点をもって作業終了とする。
- (5) 競技終了時間になった旨を知らされた場合は、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従うこと。
- (6) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
- (7) 以上の注意事項に基づき、怪我のないよう十分注意して作業をすること。

### 3 仕様

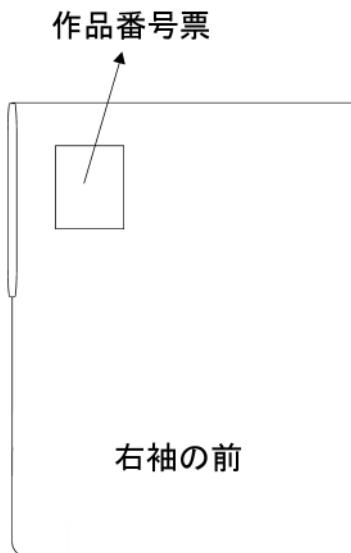
- ・**仕立て寸法**
  - 身丈・・・背から4尺2寸
  - 袖丈・・・1尺3寸
  - 桁・・・1尺7寸5分
  - 袖巾・・・9寸
  - 袖付・・・6寸
  - 袖口・・・6寸
  - 後巾・・・8寸
  - 前巾・・・6寸5分
  - 抱巾・・・6寸5分
  - 衽巾・・・4寸
  - 合襷巾・・・3寸8分
  - 縁越・・・5分
  - 襷下・・・2尺1寸
- その他の寸法は標準寸法に準ずる

- ・**特殊加工(ガード加工など)はしないこと**

- (1) 事前に縫い上げておく箇所は、次のとおりとする。  
右そで。えり先布と裏おくみのこはぎ。裏は胴裏、裾回し（八掛け）胴はぎまで。  
(胴裏の背縫いは自由とする)
- (2) 競技会場で行うものは、次のとおりとする。  
左そでと表身ごろ、裏身ごろ前幅のしるし付け（へら付け）をし、おくみ付けから仕上がりまで。
- (3) えりは、表裏別縫いとし、えり先は本止めとすること。ただし、えり先縫い代を表裏のおくみではさむ。
- (4) 共えりは、別がけとする。ただし、くけは束ぐけでもよい。
- (5) そで口布は、回しがけとする。
- (6) 共えり及びつま下（えり下）のしつけは、してきてはならない。
- (7) しつけの種類は自由とする。
- (8) 三つえり芯の長さは8寸（30cm）以内とする。
- (9) 競技終了後のおもしはしてはいけない。

**注:すべての箇所についての幅のしるし付け(へら・チャコ等)、折りはしてきてはいけない。ただし表、裏のおくみのしるしは自由とする。**

作品番号票は、下図に示す位置に取れないように縫い付けること。ただし、縫い付け  
る時間は競技時間外とする。



#### 4 支給材料

付下げ表地・八掛・胴裏

#### 5 競技日程

10月21日(金)	下見	集合時間：11時	終了時間：11時30分
10月22日(土)	競技	集合時間：8時15分	終了時間：15時45分
10月23日(日)	競技	集合時間：8時40分	終了時間：12時

#### 6 採点項目等

採点項目	配点
作品採点	仕様誤り
	できばえ
	作業態度

## 公 表

### 第54回技能五輪全国大会「和裁」職種持参工具等一覧表

選手が持参するもの。（数量欄の数字は、特にことわりのない限り選手1人当たりの数量を示す。）

区分	品 名	規 格	数 量	備 考
材 料	表地	事前に配付した材料を持参のこと	1枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの
	裏地	事前に配付した材料を持参のこと	1枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの（通し裏は使用できない）
	三つえり芯		適 宜	
	すそ芯又はふきわた		適 宜	
	糸		適 宜	
工 具	コテ釜		1 台	
	コテ（2本使用可）		1、2本	

注意 その他、必要だと思われる裁縫用具一式を各自持参すること。ただし、アイロン（ベビーアイロンを含む）、霧吹き等他人に迷惑をかける恐れのあるものの持込みは禁止する。

裁ち板の足台の高さは15cmないし25cmである。

## 公 表

### 第54回技能五輪全国大会「和裁」職種設備基準

競技会場に準備してあるもの。

品 名	規 格	数 量	備 考
裁 ち 板	1 8 0 × 4 5 × 4. 2	1 枚／1 人	
作品番号票	10 c m × 5 c m	1 枚／1 人	
座 布 団		1 枚／1 人	

## 公表

# 第54回技能五輪全国大会「和裁」職種採点基準概要

## 1. 採点項目等

採 点 項 目		配 点
作品採点	仕 様 誤 り	100
	で き ば え	
	作 業 態 度	

### イ) 仕様誤り

- 衿先が本止めになっていないもの
- 袖口布が回しがけになっていないもの
- 三つ衿芯の入っていないもの
- 白針になっているもの 1目につき減点
- 引き糸が付いている場合、1箇所につき減点

### ロ) できばえ

- 袖口・口下・丸み
- 袖丈・袖巾・振り
- 袖付け・身八つ口・袴のつりあい
- 表・裏直線縫い 身巾のつり合い
- 身頃の立てとじ かぶり
- つま・裾ぶき
- つま下
- 表衿つけ・共衿つけ
- 裏衿つけ・衿とじ
- 衿くけ・衿先
- 上前のおくみ付け（模様合わせ）
- コテ光り、焼けこげ、しみ等

### ハ) 作業態度

## 2. 採点方法

- イ) 審査員の水準調整として、2枚以上の作品を見て水準の統一を図る
- ロ) 審査員が各項目を採点し、合計点の高いものから順位を決定する

## 3. 失格要件

- イ) 作品に残針があった場合
- ロ) 左右の袖付け違い
- ハ) 未完成品